

2025年6月2日
損害保険ジャパン株式会社
株式会社日本旅行

日本旅行と損保ジャパンが宇宙ビジネスに関わる協業開始 ～日本旅行120周年プロジェクトへパートナーとして参画～

株式会社日本旅行（本社：東京都中央区、代表取締役社長 小谷野悦光、以下「日本旅行」）は、創業120年の記念事業として、月に想いを届けるプロジェクト「We are going to the Moon!」※（以下「本プロジェクト」）を実施しています。

損害保険ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 石川 耕治、以下「損保ジャパン」）は本プロジェクトへパートナーとして参画するとともに、宇宙ビジネスの発展を目的とした包括協力協定書を2025年5月29日に日本旅行と締結しました。



※ 日本旅行120周年記念プロジェクト【We are going to the Moon!】

日本旅行では創業以来、様々な旅の創造を続けることにより人々の夢を叶えてきました。私たちは、120年間の感謝を力に変えて、月へと旅ができる未来に挑戦します。月への旅の第一歩としてたくさんの皆さまの夢や想いのメッセージを預かり、2025年秋以降に月へと送り届けます。

特設サイト：<http://www.nta.co.jp/galaxyproject/120th-project>

1. 背景

宇宙産業は世界的に急激な成長を続けており、国内でも2020年時点で約1.2兆円の市場規模を2030年代早期に倍増させる目標を政府が掲げています。ロケットによる輸送サービスや人口衛星の通信・データビジネスだけでなく、その事業内容も多様化しています。

日本旅行は、2020年に宇宙事業を専門に扱う部署を設置して以来、旅行業の枠を超えて幅広い宇宙事業への取組みを進めながら、地上から宇宙空間への安全・安心・快適な旅の提供を目指しています。その中で将来的な月旅行の実現に向けた挑戦の第一歩として本プロジェクトを企画し、メッセージを記録した記念ディスクの月面への輸送に挑戦する予定です。

ロケットや人工衛星の製造・打上げなどに取組む民間宇宙ビジネスと同じく、本プロジェクトにおいても専門的な技術支援やリスク対策が不可欠であり、損保ジャパンがパートナー企業として本プロジェクトに参画することで、さまざまなニーズに応えるサービス構築の第一歩とします。

2. 主な取組み

協業のはじめとして、本プロジェクトの宇宙空間における輸送リスクを整理し、適切なリスク転嫁を両社で検討のうえ、月面輸送に関わる保険の組成を行いました。

また、本プロジェクトで月面へ輸送するペイロード（人工衛星等宇宙機への搭載物）の製作および輸送事業者とのインターフェイス（宇宙機と搭載物の接続部分）調整におけるリスクに対する助言を、SOMPOグループのSOMPOリスクマネジメント株式会社がを行っています。



2025年5月29日、包括提携書の締結
日本旅行 代表取締役常務取締役 吉田圭吾(左)と損保ジャパン 航空宇宙旅行産業部長 平川純(右)

3. 今後

本パートナーシップにより得られた知見をもとに、日本旅行が取り組む宇宙事業と損保ジャパンのリスクサービスとを掛け合わせた新たなサービスの提供を目指します。今後も引き続き広範かつ深度あるリスク研究を行い、宇宙ビジネス拡大および宇宙産業発展に貢献してまいります。

本件に関する問い合わせ

- 株式会社日本旅行 宇宙事業推進チーム
担当：保母・中島 Mail：galaxyproject@nta.co.jp
- 損害保険ジャパン株式会社 航空宇宙旅行産業部 宇宙産業開発課
担当：阿保・川田 Mail：01_dtrd40@sompo-japan.co.jp

以上